

暑い夏！わがまちの一大イベントに1万8千人が歓喜

「かなやま湖太陽と森と湖の祭典」が7月29日と30日の2日間、かなやま湖畔キャンプ場で開催され、延べ1万8千人の観客で賑わいました。

「LIVE DAM in かなやま湖」では、キャンプ場内の通路を利用してストリートライブが行われました。「ニジマスのつかみどり」には、大勢の子ども達が歓声と水しぶきを上げていました。みこし隊(大乘会の皆さん)による「餅まき」にはたくさんの人だかり。「ボウケンジャーショー」には子ども達が大声援。「セニョール玉置」さんによるステージでは、大勢の観客の中で、「玉置浩二」にそっくりな歌声と様々なものまねが披露されました。「ジェミニアンドギャップ」によるライブでは、ステージ前で踊り出す観客もいました。「石上久美子」さんの歌謡ステージでは、力強く自慢の歌声を披露してくれました。「セニョール玉置」さんによる「假屋崎省吾」のものまね。湖水まつりの定番、町内の女性団体の皆さんによる「湖水音頭」。親子で「ニジマス釣り」に挑戦。祭典のフィナーレを飾った夜空を彩る「花火大会」。

「LIVE DAM in かなやま湖」

29日に行われた、町商工会青年部主催による「LIVE DAM in かなやま湖」は、かなやま湖のイメージソングを創りたいという事から企画されたライ

ブコンテストで、町内をはじめ札幌や函館から7組11人のアマチュアミュージシャンが出演し、会場内の路上での一般審査や、ステージでの最終審査で自作の歌などを披露しました。審査の結果、札幌市の皆川大輔さんが優勝し、かな

やま湖のイメージソングづくりに取り組むことになりました。コンテストの後は、道内で活躍中のバンドによるライブが行われ、熱いステージが繰り広げられました。

第13回 太陽と森と湖に親しむ博覧会

29日と30日の2日間開催され、「森と湖の博覧会」や、「金山ダム見学会」、「ニジマスのつかみどり」などが行われ、大勢の親子連れが歓声を上げながら楽しんでいました。

第35回 かなやま湖湖水まつり

今年で35回目を迎えた湖水まつりは、みこし隊による「餅まき」がオープニングを飾り、開祭式のあと、

町内小中学生による鼓笛や吹奏楽などの演奏、ボウケンジャーショー、各種芸能発表、カヌー体験試乗会など盛りだくさんの催しが行われ、商工会の出店会場も大盛況でした。夕方から行われた「ライブ in かなやま湖」では、「セニョール玉置」さんによるものまねが披露されたほか、「ジェミニアンドギャップ」によるライブで、大いに盛り上がりました。本町出身の歌手・石上久美子さんの歌謡ステージでは、力強く自慢の歌声を披露してくれました。フィナーレを飾る花火大会では、「700メートルのナイアガラの滝」や「スターマイン」などが打ち上げられ、多くの観客を魅了し、今年も暑い中行われた本町の一大イベントが幕を閉じました。

まつりのあと……

祭典の翌日、会場となったかなやま湖畔キャンプ場では、早朝から町内の女性団体の皆さんと出店関係者によるゴミ拾いが行われ、たくさんゴミが拾い集められたほか、町職員などによるテントやテーブル、看板などの後片付けが行われました。祭典の実施にあたり、ご協力いただきました各関係団体の皆さん、大変お疲れさまでした。



かなやま湖 太陽と森と湖の祭典

